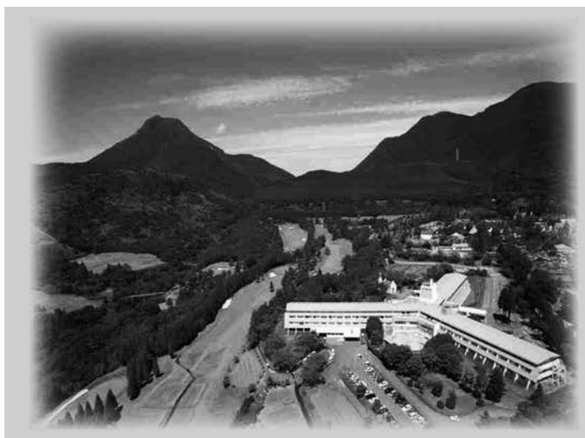

遊び 探究学習 SDGs学習 平和学習

魅力あふれる教旅コンテンツを用意

城島高原オペレーションズ

城島高原オペレーションズ（大分県別府市）は、半世紀以上にわたり地元九州や愛媛県、山口県をはじめ、全国の小学校・中学校・高等学校・支援学校の教育旅行を受け入れ、観光施設としては全国有数の受け入れ実績を誇る。城島高原パークでのアトラクション体験、城島高原ホテルでの宿泊に加え、近年は地元の研究会と連携して農泊体験の提供にも力を注いでいる。近隣の観光関連施設も含め、城島高原には「遊び」「探究学習」「SDGs学習」を幅広く網羅するコンテンツがそろう。教育旅行受け入れ施設としてのポテンシャルの高さを、西日本エリアのみならず東日本エリアにも発信すべく、同社・後藤康男社長や同ホテル・相部満昭支配人に話を聞き、その魅力や可能性を紹介する。

“笑顔になれる”アトラクション多数

阿蘇くじゅう国立公園、由布岳の南麓に広がるなだらかな高原地帯の一角、別府市内の温泉街のにぎわいから少し離れたところに城島高原の各施設は位置している。

城島高原パークは日本初の木製コースター「ジュピター」をはじめ、今春に新設した最新デジタル技術を駆使した屋内型の新コンテンツ「TOMISHIRO NGAZONE」まで、30を超えるアトラクションを有する。「園内をところ狭しと移動し、笑顔で各アトラクションを楽しんでくれている生徒たちの表情を見ると本当にうれしくなる」と後藤社長。

「『全生徒が一定時間園内にいてくれる環境は、引率する側としても安堵（あんど）できる』とのお声を頂く」との言葉通り、生徒の行動を把握する観点からも大きなメリットがある。パーク内で食事をとる際には、ランチバイキングや焼肉バイキング、食事券利用など、学校ごとの要望に応じた食事提供も可能だ。

ジュピターは日本を代表する人気コースターだ

要望に応じた柔軟な食事提供が可能

広い客室、充実のガイダンス用施設

城島高原ホテルは高層階のない4階建て。眼前に国立公園の雄大な自然が広がる緑豊かな環境が特徴的。受け入れは1校1館を原則とし、客室棟は2棟に分かれ、男女別の部屋割りなどの際にも勝手が良い。大浴場は天然温泉「大地の湯」で、男湯は檜（ひのき）造りの和風風呂、女湯は大理石造り洋風風呂を備える。男女とも最大60人まで収容可能だ。食事提供はビュッフェ料理、セット料理から選択可。地元大分の郷土料理など、地産地消をテーマにした料理も用意している。館内でのオリエンテーション用に利用できるホール（収容人員300人を2カ所有し、パーク内のホールも利用できるなど、ガイダンス施設も充実している。相部支配人は「程よい緊張感を持って一定のルールのもとホテルライフを仲間と過ごす経験は、家族で過ごすものとは異なる意味を持つ。自然を感じる空間で有意義な時間を過ごしてほしい」と思いを語る。

城島高原ホテルの外観

客室（例）。ゆったりとした造りで、班やグループごとの部屋割りもしやすい

大宴会場「風雅の間」はオリエンテーションなどに最適な大ホール

農泊など豊富な教旅用素材

近年は大分県グリーンツーリズム研究会（宇佐市）と連携協定を締結し、農泊を推進している。県内の100を超える農泊受け入れ家庭の協力のもと、農作業体験や料理体験などを整備し、地元の自然や農業に触れるプランを造成している。阿蘇くじゅう国立公園に属する「猪の瀬戸湿原」でのトレッキング、宇佐市内の平和資料館や軍用機離着陸地「掩体壕（えんたいごう）」、自然動物公園「アフリカンサファリ」のほか、大分県内の留学生との「異文化交流研修」など、教育旅行のコースに組み込める「遊園地にホテルが隣接し、昼食も大人数対応が可能。農泊連携、猪の瀬戸湿原トレッキング、宇佐の平和資料館などで『体験』『探究』『SDGs』の各学習を提供でき、アフリカンサファリ、水族館『うみたまご』（大分市）などの観光施設もほど近い。充実した教育旅行を提供する自信がある」と後藤社長。「リクエストに応じてパークメンテナンスチームの日常作業、点検業務の視察など職業体験的な協力もできる」と、生徒・学生たちの思い出作りに尽力する。地元の大学で観光開発の講義を受け持つ後藤社長自ら、生徒・学生を対象にビジネス講義を開くことも大歓迎だ。「お客さまの笑顔が見たい！」の精神は、同社施設やプログラムが周辺一帯に存在している。

農泊体験でのワンシーン

思い出づくりのために どんなことでも協力

施設を教育旅行で利用する多くの学校に届き、後藤社長の教育旅行への熱意の源にもなっている。

同社への教育旅行に関する問い合わせは☎0977（22）1165、ホームページ（https://www.kijimakogen-park.jp/grouptrip/）。同HPでは、教育旅行についての詳しい資料などを見られる。

HPのQRコード

アートを体験、遊びながら学ぶ

トリックアート美術館

日本発祥の参加・体験型アート「トリックアート」。平面の絵が飛び出したり、角度により違う雰囲気の絵に見えたりする不思議なアートだ。栃木・那須高原と東京・お台場にあるトリックアートの常設館は、これらの作品を見るだけでなく、写真に撮ったり、錯覚を感じたりとさまざまな体験ができる。思い出づくりとともに、芸術性を学び、発想力を養える体験・見学地と、中学や高校の修学旅行で人気を集めている。

那須とりっくあーとぴあ「光とアートの世界」を体験

「那須とりっくあーとぴあ」は、国内最大のトリックアートのテーマパークだ。「トリックアートの館」「トリックアート迷宮?館」「ミケランジェロ館」の三つの施設で構成。さらに敷地内の体験館「那須ホワイトスタジオ」では、アートの制作体験ができるプログラムも用意している。

3月19日には「トリックアートの館」がリニューアルオープンした。テーマは「大人女子が子供の頃に憧れていた空想の世界」。おとぎ話の世界を絵画で創り出し、光の演出によって、見る人に幻想的な空間を体験してもらう新しい取り組みだ。

物語のメインとなる二つのエリアが新たに誕生した。そのうちの一つ「海のエリア」では、ランタンが星に変わって空に流れていったり、星を集める船をのぞくとトリックを楽しめたり、不思議な世界を体験できる。観覧者は夕焼けの海が広がる部屋を自由に歩き、気に入った場所で写真撮影をしたり、絵画に隠されたいたずらを探して遊んだりと二重の面白さを体験できる。美しいアートの世界を満喫したい。

もう一つの「家のエリア」は、たくさんある扉の中に、それぞれ違う世界が広がっていくエリア。そのうちの一つ「パパのアトリエ」は、観覧者が白いキャンバスに向かって専用のUVライトを当てると鮮やかな色が浮かび上がり、まるでキャンバスに落書きをしているかのような、子供のころは怒られたかもしれない体験を思う存分できる。

このほかトリックアート迷宮?館は、魔法の世界をトリックアートで再現した館。立つ位置により体験者2人の体の大きさが変わる「エイムズの部屋」が有名だ。

ミケランジェロ館は、イタリアルネサンスの三大巨匠の名作をトリックアートで再現。「最後の晩餐（ばんさん）」や「アテネの学堂」「システィーナ礼拝堂」が見る人を圧倒する。

▽栃木県那須郡那須町高久甲5760。☎0287（62）8388。不定休で、午前9時半から午後5時まで営業（8月は午前9時から午後5時半まで）。入場料3館共通大人2800円、中学生以下1900円。

海のエリア「ランタンファンタジー」

AR対応のトリックアート「ドラキュラのおやつ」

家のエリア「パパのアトリエ」

密を回避し「安心」提供

東京トリックアート迷宮館

「東京トリックアート迷宮館」は、江戸をテーマにした和風のトリックアートをはじめ、多くの人気作品を展示する体験型の美術館だ。都内屈指の人気エリアお台場の複合施設に展開。コロナ禍の中、館内や隣接の商業施設は感染防止対策を徹底するほか、海浜公園を見渡す開放的なデッキがあり、密を回避できる。

館内に入り、まず目にするのは「江戸エリア」。「華やかな江戸の彩」をコンセプトに、色彩豊かで親しみやすいモチーフの、和風の作品を数多く展示している。

例えば「跳び出す鳥獣戯画」は、国宝・鳥獣人物画に描かれたカエルやウサギが立体的に跳び出す様子を表現。鑑賞者は驚いて捕まえようとしたり、一緒に走り出したりするなど、現実と絵が一体になったユニークな写真が撮れる。

次の「愉快な忍者とお化けエリア」では、忍者やお化けのトリックアートが来場者を出迎える。隠し扉などさまざまなトリックも仕掛けられていて楽しい。

隠し扉を抜けた先は「トリックアート名作ギャラリー」。過去の名作から最新作まで、多くの作品を展示している。

トリックアート美術館だからこそできる〝仕掛け〟が楽しい「リアル謎解きゲーム」（別途料金が必要）も開催中。館内で展開されるストーリー、みんなで謎を解いていく経験は、不思議な体験をより深めてくれるので、お勧めしたい。

▽東京都港区台場1の6の1、デックス東京ビーチシーサイドモール4階。☎03（3599）5191。不定休で、午前11時から午後9時まで営業。入場料大人千円、中学生以下700円。

雄大な自然に包まれて、心に響く感動体験を！

自然学習は長野県へ

長野県教育旅行のお問合せは ▼ 自然が学び舎長野県学習旅行ナビ

https://www.naganoken-gakushuryoko.net/

体験学習、見学施設など豊富なコンテンツを基にモデルコースを紹介
班別コース、SDGs などのプランをご案内

長野県で体験型修学旅行を！ ～修学旅行や合宿の経費を補助します～

詳しくはこちらから
https://www.nagano-tabi.net/kikou/r4shuryo.html　お問合せ先 026-219-5280

（一社）長野県観光機構
〒380-0936 長野市中御所岡田町 131-4　Tel：026-219-5274　E-mail：gakushu@nagano-tabi.net

修学旅行生の大切なお荷物
私たちにお任せください

●旅行会社出身の旅行手配に精通した社員がきめ細かに対応
●全国約 50 社とのネットワークを生かして荷物を運送
●国内、海外の大手旅行会社の取り扱い実績多数

DAIEI Transport & Travel.
大栄トランスポート＆トラベル

お荷物のご用命は
営業担当：山本成雄
携帯：090-4271-9193

大栄運送 トラベル事業部　〒260-0032　千葉市中央区登戸 1-15-10 奈良ビル 202 号
TEL:043-307-7393　FAX:043-307-7412　Eメール（営業）:sales@daieitransport.com